

道伝えの日 芭蕉忌句会 入賞句

○兼題句「芭蕉忌」

・互選

〔一席〕

四、堂に座し野に座す佛翁の忌

高木 みつ江

一二、芭蕉忌や人につきゆくひとり旅

柴田 恭子

〔三席〕

二八、仁丹が鞆の隅に時雨の忌

澤木 正子

三八、苔庭へ雨音消ゆる翁の忌

奥田 貴美子

四〇、死を語り恋も語りぬ翁の忌

数崎 清子

○当季雑詠句(秋・冬)

・互選

〔一席〕

二六、秋海棠母の小言の柔らかし

岩野 清子

〔二席〕

一五、鉄塔の影を伸ばして十三夜

吉田 紀美子

〔三席〕

四、乗鞍に道見ゆる日や刈田晴

高木 みつ江

三五、落城史語る老僧秋深し

尾崎 淑子

三八、ブランコを漕いで飛び込む秋落暉

奥田 貴美子

※選者体調不良のため、本年は互選のみとします。



道伝えの日 芭蕉忌句会 高校生の部 入賞句

○当季雑詠句(秋・冬)

・飛驒俳句会選

〔飛驒神岡高等学校〕

入賞 黍嵐大筆で書く一画目

一年

井上

実咲

〔斐太高等学校〕

入賞 弦の音や深呼吸して雪弓庭

一年

門前

凜音

〔吉城高等学校〕

入賞 勉強のバックサウンド虫の闇

二年

山下

祐華

〃 金木犀香り漂う朝の風

一年

石垣

楓奈

〃 新月やシャーペンの音響く部屋

一年

岡田

千佳

〃 肩並べ腰を下ろせば野菊濃し

一年

奥田

里咲

〃 金風や風を集める体中

一年

坂本

侑寿己

〃 夕暮れに染まる紅葉と君の頬

一年

田口

心寧

〃 名月めがけボール蹴る夜練習

一年

松田

悠佑

〃 失恋を「しつこい」と読む秋の風

一年

吉井

幸平

